



インタビュー

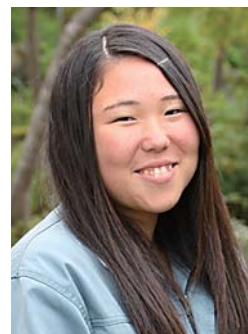
殺処分ゼロ＝命の花がなくなること



三本木農高 動物科学科 愛玩動物研究室
ひのさわ よしこ
日野澤 義子 教諭

農業クラブ全国大会で日本一に輝き、全国から注目されていた時に新採用で引き継いだので、「私でいいのだろうか」と正直思いましたが、当時の3年生が支えてくれたので一緒に考えながら進むことができました。研究室では、生き物を飼っていない者が、“命の花”を語っても説得力がなく、いきなり骨を砕く作業をさせても生徒たちもつらいので、動物舎の管理から始めています。生徒たちは管理作業を通して、「動物を飼う覚悟と責任」と、「人の管理によって動物の生き方が左右される」ということを学んでいきます。初代メンバーの熱い思いを受け継ぎながら、今後は「地域の人にもっと知ってもらって世界へ発信すること」「動物の文化的歴史・背景を学ぶこと」が課題です。目標は“殺処分ゼロ社会”、つまり“命の花”がない社会です。「昔こんなプロジェクトあったよね」と言える社会になることがゴールだと思っています。

命の大切さを見直すきっかけに



三本木農高 動物科学科 愛玩動物研究室
のざき ゆうか
野崎 有香 室長

研究室では、“命の花プロジェクト”をPRするのはもちろんですが、毎日の動物の管理を通して、動物の命の大切さや管理の大変さを学んでいます。プロジェクトでつらかったのは、今はだいぶ少なくなりましたが「気持ち悪い」とか「骨を砕く行動が理解できない」など批判する声を聞いたときです。でもそんな時でも「自分たちでできることをやろう」と、みんなで頑張りました。“命の花”を知ってもらって、命の大切さを見直すきっかけになればいいなと思います。また、今現在ペットに愛情を注いでいる人も、ペットが亡くなる最後までかわいがってほしいと思います。私は、小さい頃からの夢である動物看護師を目指しています。後輩たちには、初代先輩たちの思いに恥じないように、活動の意味をしっかりと理解して、正しい情報を発信して広めてほしいです。

命を考える

三本木農高の「命の花プロジェクト」は、これまでの活動が認められ、2013年に農業クラブ全国大会で最優秀賞と文部科学大臣賞を受賞。14年には第6回日本動物大賞グランプリ、第43回デリーー東北新聞社賞を受賞。英国の動物愛護団体から補助金が決定するなど、活動が新聞やテレビなどでも紹介され、全国から賞賛や応援の声が寄せられています。学校生活で常に命と向き合う生徒たちにとって、動物たちがやむなく殺処分され、廃棄物として処分されることは大きな衝撃でした。しかし生徒たちは、自己との葛藤の中、身を切るような思いや活動を重ねて、人間も動物も共に幸せになる社会をつくらうとしています。

私たちのまちには、尊い活動をしている高校生がいます。そして、私たちのまちから「命のメッセージ」が世界へ発信されています。同校生徒のような命を大切にす温かな心を持った人たちが手を取り合っている、優しさと潤いに満ちた豊かな社会へと変わっていくのではないのでしょうか。

今も命の花は大地に根を張り、動物たちの思いを静かに伝えていきます。



道の駅「とわだびあ」で命の花の鉢上げ体験



官庁街通りの花壇に、みきの保育園の年長組の園児と共に、ナデシコやギボウシなどの宿根草を補植しました

殺処分ゼロの広がり
動物たちの思いを伝えるために、三本木農高の生徒たちは「命の花」のイベントや愛犬家が集うイベントなどで、プロジェクトを紹介する活動や殺処分を未然に防ぐ活動を毎年展開しています。
生徒たちは訴えます。「骨を砕くという作業を涙を流しながら行いました。つらくて悔しくてたまらない気持ちになりました。でも、一番苦しんだのは命を閉ざされた犬や猫たちです。殺処分の現状を

なんとか伝えたいと思い、作業を行いました」
「こうして成長した花を見ていると、彼らが花となって生き返ったようであれしい気持ちになりました。どうかこの花たちの『里親』になってください。そして、動物たちを念願の土に還していただければ幸いです。この花たちが元気に育ってくれること、また、殺処分の問題解決に導いてくれることを願っています」
今、この活動は、殺処分ゼロの輪を大きく広げています。



2013年から同校で行われている「犬の祭典」には、多くの市民が愛犬と共に参加します



県動物愛護センターの「ふれあいフェスティバル」。生徒たちは、プロジェクトのPRや動物供養碑花壇に命の花の移植を行いました

第4章

命のメッセージ

北里大学獣医学部 「北里しっぽの会」

北里大学獣医学部には、動物愛護のためのサークル「北里しっぽの会」があります。同会は、前身の「犬部」を経て2009年に発足しました。毎月第2日曜日に動物の里親探しのため、一般の方も参加できる譲渡会を開催しています。



「三農祭」で開催された譲渡会

インタビュー

北里しっぽの会 国分 彩葉 代表

“命の花プロジェクト”の発足時から三本木農高と協力合っています。私たちが行っているように、動物を保護して世話して里親を探すのも殺処分ゼロへの方法ですが、同校の“花で命の大切さを伝える”という発信は素晴らしいと思います。

